



**各事業所やフロアーに掲示**

**永 寿 会**

## 虹の通信 第24号

2017年 7月17日

課題や問題に溺れるのではなく、創造に向かって解決していく道を歩く！

よく組織の会議や内部の委員会等のテーマは抱える課題や問題点、新しい方針等の検討、分析が主題になります。その中では、問題点の掘り下げやその役割の追求となりますが、先ずはとして過去やしたことの反省や追求が中心になることがあり、批判されたり、反省が前面に出過ぎることがあります。

組織の中で役割を分担して働く人としてそれは避けられないことですが、往々にして反省や、問題を生じさせた部分で終始してしまう傾向やそこに留まってしまふことがあります。

「私はそういうことは嫌いなので、したくありません。」、「人が足りないからできません。無理です。」、「そんなことをする時間的余裕はありません。」、「機材が足りませんし、危険ですので無理をしたくありません。」等の理由で新しいことや御利用者や子供達の豊かな生活や発展にブレーキをかけていませんか？

現状維持や後ろ向きに止めたらきりがありません。職業人ですから自分は嫌いでもチャレンジしなければなりませんし、耐えなければなりません。私はあるレストランで食事をした際、従事ウエイトレスやウエイターの全部が髪の毛は短く、整えられて全て同じ服装でテキパキとサービスに努めていました。少し高級な店でしたがなるほどと思いました。適当な段階で納めればきりがありませんし、示しがつかなくなります。また、「人が足りないからできません」はでは何人いたら可能なのか？多ければ多いほどいいに決まっています。現状では何ができるか？どこまでできるか？で議論していかななくてはなりません。

また、時間は作るものです！限度はありますが、一動作で二つの作業をすることや手順を変えてみたり、協力し合うことにより解消できるものもあります。そして、難しいが、以外とネックになるのが「危険だから」です。事故や怪我がないことが大事ではありますが、それを最優先したら安全な場所に隔離することが最適になります。

それで本当に良いのでしょうか？人は生きていくとき、生き抜いていくときや道程は危険だらけです。私達は今、私達に注がれているまなざしの中で、安全は重大事項ですが、事故や危険の防止に努めつつ、豊かで創造性に優れたサービスの展開をしていかななくてはなりません。そのような方針を確立していく必要があります。

以 上